

◇ あさひのプロジェクト（総合的な学習の時間）の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、デザイン思考の過程の中で自分のできる実践を繰り返し行うことを通して、自分の考えを広げ深めながら課題を解決し、実生活・実社会における自分の可能性や価値を認識し、社会に生かそうとする意欲を高める。

ア 日常生活や社会に目を向けて、そこから湧き上がってくる疑問や関心に基づいて自ら課題を見つけ、探究のプロセスを繰り返しながら豊かに学んでいる。

イ 課題に対して、多様な角度から俯瞰して捉えながら、自らの知識や技能等を総合的に働かせて、目前の具体的な課題に粘り強く対処し、解決しようとする。

ウ 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自己の生き方を考え、積極的に社会参画しようとする。

◇ あさひのプロジェクトにおける新たな価値を創造できる資質・能力の捉え

ア 問題発見・解決能力	イ 批判的思考力	ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力
日常生活や社会に目を向けて、そこから湧き上がってくる疑問や関心に基づいて自ら課題を見つけ、探究のプロセスを繰り返しながら豊かに学習すること	課題に対して、多様な角度から俯瞰して捉えながら、自らの知識や技能等を総合的に働かせて、目前の具体的な課題に粘り強く対処し、解決しようとする	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自己の生き方を考え、積極的に社会参画しようとする

1 単元名・学年 「これからの社会と関わる私」・2年

2 単元のねらい

自己の生き方を見いだす場面で、講演会や先行体験、社会体験学習から学んだことを基に、「自己の生き方」についての問いを更新することを通して、これから大切にしていきたい自分の生き方について考えをもつことができる。

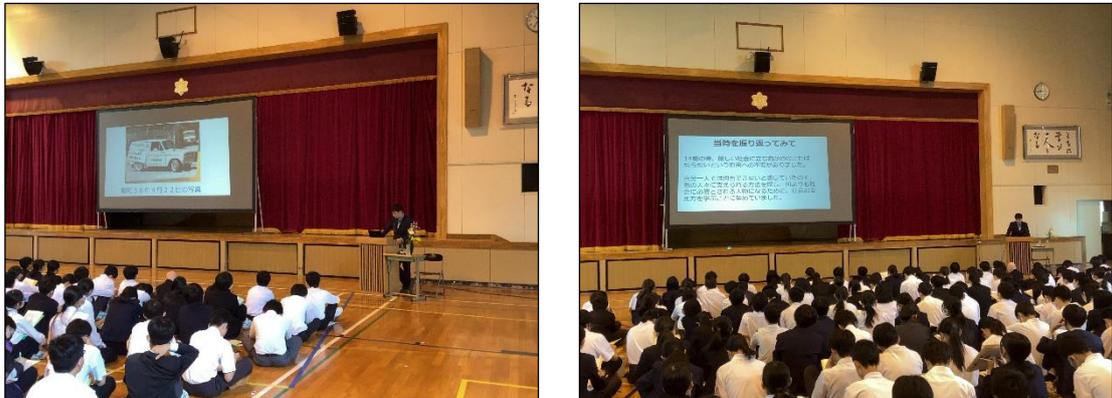
3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b> 地域で働く人々の生き方①を自分との関わりで考えることは、自己の生き方を深めることにつながると気付いている。</p> <p><b>知</b> 地域で働く人々の生き方②とその理由を考える学習が、自己の生き方に深く関わっていくことを理解している。</p> <p><b>技</b> 収集した情報を分類し、分かりやすい方法で表している。</p>	<p><b>思</b> 自分で課題を設定し、解決の①見通しをもっている。</p> <p><b>思</b> 必要な情報を明確にし、目的②に合った方法で情報を収集している。</p> <p><b>思</b> 目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。</p> <p><b>思</b> 目的に応じて、自分の考えを④まとめ、適切な方法で表現している。</p>	<p><b>態</b> 課題解決に向けて見通しをもち、①粘り強く取り組み、活動を振り返りながら、次時の活動に生かそうとしている。</p> <p><b>態</b> 自分の意思で、課題の解決に向かって、②活動に取り組もうとしている。</p> <p><b>態</b> 地域で働く人々が大切にしている③生き方と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習や生活の在り方を積極的に考えようとしている。</p>

※新たな価値を創造できる資質・能力の評価は、上記の評価規準を関わらせて行う。

#### 4 単元展開（全 40 時間扱い、本時は単元終了後に実施）

※あさひのプロジェクト（20 時間）だけでなく、新設教科「あさひのラーニング」の時数（20 時間）も加えた、計 40 時間で実施

段階	学習活動	時間
前単元	<ul style="list-style-type: none"> <li>前単元「これからの社会に触れる私（第 2 期）」では、以下の学習を実施している</li> <li>①「自分史マップ」これまでの自分を振り返る学習</li> <li>②「私の啓発録」橋本佐内さんの「啓発録」を参考に、自分の生き方について考える学習</li> </ul>	(10)
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>前単元で学習した「自分史マップ」や「私の啓発録」について振り返り、本単元「これからの社会に関わる私」についてのガイダンスを聞く。</li> <li>「自分史マップ」と「私の啓発録」を基に、「これから大切にしていきたい自分の生き方」について考え、Yチャートを用いて「自分の生き方（以後、『14 歳の問い』と表記）①」を立てる（図 1）。</li> </ul>	1・2
展開	<p><b>【講演会（本校の学習に協力して下さる企業の方を講師としてお招きして、14 歳の問いについてご講演いただく機会）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時に考えた「14 歳の問い①」と講演会の内容がどのように関わるかという視点で、講演会を聞く。</li> </ul>  <p>図 2 講演会の様子（第 3 時）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講演会を通して学んだことや感じたことを振り返り、「14 歳の問い①」に対する考えをまとめ、「14 歳の問い②」へ更新する（図 3）。</li> </ul> <p><b>【座談会（学級・学年を超えた人が集まり、話合いの視点に沿って意見交換をする機会）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「14 歳の問い②」を基に、学年内で講演会を通して変容した「14 歳の問い」についての座談会を行い、問いを修正・改善する。</li> </ul>	3 5
		<p>図 3 生徒が作成した Yチャート（第 4 時）</p>

**【先行体験（学級単位で行う校外活動）】**

・学級ごと、先行体験を行う企業について、事前調査を行い、先行体験の意義について考える（図4）。また、先行体験を行う際のマナーや注意点を確認する。



図4 事前調査の様子（第6時）

・「14歳の問い②」の視点から、学級ごと先行体験を行う

※令和6年度は、以下の企業先で活動を実施

- ・ホクト株式会社
- ・サンクゼール株式会社
- ・花工房福祉エコーンファミリー
- ・信濃毎日新聞
- ・長野地方検察庁

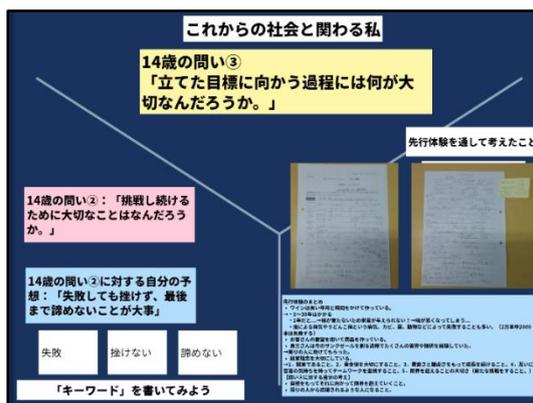


図5 生徒が作成したYチャート（第9時）

・先行体験の学習を基に、「14歳の問い③」へ更新する（図5）。

展  
開

・社会体験学習\*についてのガイダンスから、働くことと関わりながら、「これから大切にしたい自分の生き方」について考える学習であることを捉える。

※本校では、「自分の生き方（14歳の問い）」を視点として行う職場体験を、社会体験学習と呼んでいる。

**【社会体験学習の目的】**

- ・社会で働く人々のひたむきな生き方に共感し、仕事への誇りや生きがいをもつことの大切さを見いだす。
- ・将来の夢に向かい、自分が大切にしたい生き方を問い続けながら生活していこうとする。
- ・地域社会に広く師を求め、多様な価値にふれながら自分の生き方を探ろうとする。

・参加する事業所へ代表生徒が電話連絡し、活動内容について、メンバーに共有する。

※基本的に生徒の割り振りは、教員が生徒の住んでいる地域を参考に割り当てる。事業所の受け入れ人数にもよるが、大体1～8人程度の割り振りとなる。教員からの事前の事業所への連絡で、本校の「社会体験」の目的について理解をいただいた上で事業所の方々に受け入れていただく。

**【ヒューマン・ウィーク（全校で、4日間の授業すべてを総合的な学習の時間として集中的に確保する、本校独自の特別日課）】**

《令和6年度の2学年のヒューマン・ウィークの活動》

1～2日目	3日目	4日目
社会体験学習 (校外活動)	社会体験学習のまとめ (学校で実施)	ワークショップ** 単元のまとめ

\*\*本校では、事業所の方々に学校へ招き、2日間の社会体験学習から学んだことを発表したり、事業所の方々から意見をもらったりする活動をワークショップと称して実施している。令和6年度は30名程度の参加があった。

6  
9

10  
11

・事前の「14歳の問い③」の視点から、2日間の社会体験学習を行う（図6）。



図6 社会体験学習の様子

・社会体験学習における、受け入れ先の働いている方々の言動や行動を基に、自分の立てた「14歳の問い③」についての答えを「14歳の決意」としてまとめる（図7）。

・社会体験学習を通して学んだことについてまとめ、自身の「14歳の決意」について考えをもつ。また、ワークショップに向けて、発表の準備をする。

※「社会体験学習のまとめ」は後述する「6ページ 6資料」で示す。

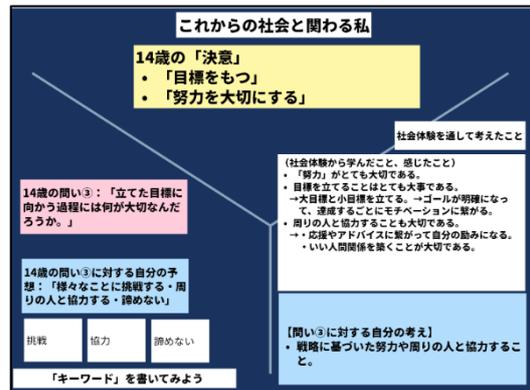


図7 生徒が作成したYチャート（第25時）

**【ワークショップ】**

・社会体験学習を受け入れてくださった事業所の方々を学校に招き、社会体験学習のまとめとして、「社会体験学習前の『14歳の問い③』とその設定理由」、「社会体験学習を通して学んだこと」、「『14歳の決意』に対する自分のもった答え」を発表し、グループ内で意見交換をする（図8）。



図8 ワークショップの様子

・単元のまとめとして、これまでの「14歳の問い」を振り返りながら、「14歳の決意」に対する考えをまとめる（図9）。

※「単元のまとめ（拡大版）」は後述する「6ページ 6資料(2)」で示す。

図9 生徒が作成した単元のまとめ（第30時）

展  
開

終  
末

## 5 本時について

### (1) 本時のねらい

次単元「これからの社会を生きる私」における自身の活動について考える場面で、「シーズ（自分の特徴）」や「ニーズ（社会課題）」についての理解を深めたり、同学年の意見や1年生や3年生と意見交換をしたりする座談会を通して、「シーズ」を「ニーズ」と関わらせて、次単元「これからの社会を生きる私（第1期）」に向けた自身の活動を決めだすことができる。

### (2) 本時の位置付け（次単元「これからの社会を生きる私（第1期）」への接続について）

本単元「これからの社会と関わる私」において、生徒は、「自己の生き方」を更新してきた過程を基に、「大切にしたい生き方」の問いの更新をし、問いの深まりを自覚していく。そして、次単元「これからの社会を生きる私」の学習に移行する。

次単元「これからの社会を生きる私」は、第1期～第3期と段階があり、第1期では主に、第2期で行うチーム別活動の軸となるテーマ「社会貢献」における活動を、「自己の生き方」と関わらせながら見いだしていく（図10）。

この2単元の接続を円滑に行うために、本校あさひのプロジェクトが大切にしている「自己の生き方」をテーマとした異学年による座談会を設定した。



図10 あさひのプロジェクトの単元接続のイメージ（星印が本時の位置）

### (3) 本時（座談会）設定のいきさつ、異学年との交流の機会について

- ① 本単元「これからの社会と関わる私」で考えた「これから大切にしていきたい自己の生き方」についての問いは、今後の学習でも更新し続けていくことを全体で確認し、「生き方Yチャート」（図7）の作成を通してテーマ「自己の生き方の問い」について考えをもった。
- ② 「自己の生き方の問い」が、次単元である「これからの社会を生きる私」における「自己の生き方」についての学習の土台となることを全体で確認した。
- ③ 「生き方Yチャート」を基に、自分自身を改めて捉え直し、シーズ（自分の特徴）について考えた。さらに、ニーズ（社会課題）についても考え、自分のできそうな活動やしたい活動を決めだし、「あさプロ活動Yチャート」を作成した。
- ④ 「あさプロ活動Yチャート」（8ページ 6 資料(3)を参照）での活動を決めだす際に、どのようにシーズとニーズを関わらせて活動を決めていけばよいか困っている生徒の考えを全体に共有し、「他の友の考えも聞いてみたい。」という生徒の願いを取り上げ、他クラスとの座談会を行うことを全体で確認した。
- ⑤ 他クラスでも同様の困り感があったため、テーマ『あさプロ活動Yチャート』におけるシーズとニーズを関わらせた活動について、座談会を行い、友と意見交換した。
- ⑥ 座談会では、生徒からシーズとニーズを関わらせていくためには、「ニーズをより知ることが必要である。」という考えが多く出された（ネットなどの情報だけでは現実的（身近）ではない）。そこで、「もっとニーズについて知っている人の話を聞きたい。」という生徒の願いを共有し、異学年による座談会を設定した。

#### (4) 座談会における各学年生徒に期待する姿について

- ・ 1年生：自身もこれから行うことを自覚しながら、質問をする姿。
- ・ 2年生：1、3年生のアドバイスや質問から、ニーズの具体やシーズをニーズに関わらせることについて理解したり、自身の活動内容を決めだしていくための情報収集をしたりしようとする姿。
- ・ 3年生：活動を実践している立場として、シーズやニーズなどの具体的なアドバイスをする姿。

## 6 資料

### (1) 社会体験学習のまとめの例

**社会体験学習のまとめ**

**私の問い**

**「立てた目標に向かう過程には何が大切なんだろうか。」**

**問いの設定理由**

前回立てた「挑戦し続けるために大切なことはなんだろうか。」という問いの答えが、「目標をもってそれに向かって限界を超えていくこと。」だったので、目標に向かって限界を超えていくためには何が大切なんだろうかなど思ったからです。

**体験から学んだこと**

立てた目標に向かう過程には、「努力」をすることがとても大切だということ学びました。また、努力する過程で大目標と小目標を立てることで、ゴールが明確になり、達成することにモチベーションに繋がるので、目標を立てることはとても大事だということ学びました。そのような目標を立てるという戦略に基づいた努力が目標を達成するために必要だと分かりました。他にも、周りの人と協力したり、助けを求めたりすることも大切だと分かりました。それが応援やアドバイスに繋がり、自分の励みにもなると思いました。そのために、よい人間関係を築いていきたいなと思いました。

**「私の問い」に対する今の自分の考え**

「立てた目標に向かう過程には、戦略に基づいた努力や周りの人と協力することが大切」だと思いました。みなさんが常に目標をもって日々取り組んでいる姿や、周りの人とよい関係を築いている姿からそう感じました。目標を達成するためには、やはり努力は必須であり、プラスして周りの人とよりよい関係を築いていくことで、周りの人から応援されたり、アドバイスをしてくれたり、自分の励みにもなったりするのでとても大切だと思いました。

**これからの自分に生かしていきたいこと**

これから、常に目標をもって生活していきたいなと思いました。その目標を達成するために、日々努力をしたり、周りの人と協力したりして達成していきたいです。努力の中でも、人に見せる努力ではなく、自分を高める努力をしていきたいです。そうして周りから信頼を築き、よりよい人間関係を築いていきたいです。立ち止まったときにはそういった周りの人と協力することも意識して過ごしていきたいなと思いました。

**企業の方へ伝えたいこと**

短い間でしたが、2日間ありがとうございました。2日間を通して、デジタルは身近なところにたくさんあることが分かりました。そのデジタルを私達がよりよく利用していけるように手助けをするデジタルライフプランナーのみなさんから、様々なことを学ばせていただきました。特に、問いの答えを教えてくださいました時は、お二人のデジタルライフプランナーとしての経験などが込められている答えを聞くことができ良かったです。気さくなみなさんのおかげでとても楽しく、充実していた2日間でした。本当に2日間ありがとうございました。

(2) 単元のまとめ（14歳の決意）の例

**「私の14歳の問い」氏名：**

**「14歳の問い」テーマ「自己の生き方について考えよう」  
～自身のこれから大切にしたい生き方とはなんだろう～**

問い設定までについて(自分史マップ、私の啓発録について)

- ・ 私は今まで「恐れずにいろんなことに挑戦し、何事にも一生懸命取り組むこと」と「誰かが困っていたら自分が困っている人のことをどうされたらうれしいか考え、それを行動に起こすこと」を大切に生きてきた。
- ・ 啓発録を通して「努力」というキーワードが自分と重なった。

**問い①「努力を大切にすることとはどうゆうことなのだろうか。」**

「問い①」に対して今回の活動等からわかったこと(講演会を通して)

- ・ 倉石さんは社会で人と関わっていくときに「助け合って生きていくこと」を大切にしてきた。その中で「常に学んでいくこと」や「挑戦を続けること」、「自分らしさを大切にしていくこと」、「使命感を持つこと」などを大切にしてきた。
- ・ そのことから、努力を大切にしていくためにはただ「諦めない心」を持つのではなく、「挑戦し続ける心」を持ち、失敗から学び続ける精神が大事になってくるのだと思った。

「問い①」に対する自分の答え

【最後まで挑戦をし続け、失敗から学びを続けること。】

**問い②「挑戦し続けるために大切なことはなんだろうか。」**

「問い②」に対して今回の活動等からわかったこと(先行体験を通して)

- ・ 良三さんは今のサンクゼールを創る過程でたくさんの苦労や挫折を経験していた。→周りの人に助けってもらった。
- ・ 経営理念を大切にしている。

→1. 誠実であること。2. 黄金律を大切にすること。3. 素直さと謙虚さをもって成長を続けること。4. 互いに官署の気持ちを持ってチームワークを重視すること。5. 限界を超えることの大切さ(新たな挑戦をすること。)

「問い②」に対する自分の答え

【目標をもってそれに向かって限界を超えていくこと・周りの人から応援されるような人になること。】

**社会体験へ向けた問い③「立てた目標に向かう過程には何が大切なんだろうか。」**

「問い③」に対して今回の活動等からわかったこと(社会体験を通して)

- ・ 「努力」がとても大切である。
- ・ 目標を立てることはとても大事である。→大目標と小目標を立てる。→ゴールが明確になって、達成するごとにモチベーションに繋がる。
- ・ 周りの人と協力することも大切である。→・応援やアドバイスに繋がって自分の励みになる。
  - ・ いい人間関係を築くことが大切である。

「問い③」に対する自分の答え

【戦略に基づいた努力や周りの人と協力すること。】

**【私の14歳の決意】**【これまでの学習を経て、これから大切にしていきたい生き方について】

- ・ 「努力」を大切に生きていきたい。
- ・ 目標をもって生活していきたい。

→物事を達成するためには、努力がとても大切ということを学んだ。人に見せる努力ではなく、自分を高める地道な努力が物事の成功への鍵になることを学んだ。努力をしていくために、目標をもって生活していきたいなと思った。目標を立てることで、ゴールが明確になって、達成するごとにモチベーションに繋がるので、努力し続けることができそうだなと思った。そのような努力を大切に生活していきたいなと思った。

(3) あさプロ活動 Yチャートの例

